

科目名	ロシア語1b A	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	鈴木 佑也	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320212	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	ロシア語の基礎を初歩から学び、高度な語学運用能力の基礎を築きます。 「ロシア語1b」は会話・音読・文章解釈の学習に重点を置きます。 なお、「ロシア語1a」「ロシア語1b」「ロシア語1c」は同時に履修することが前提となっている授業です。 分けて履修することは可能ですが、注意してください。				
学修到達目標	「ロシア語1a」「ロシア語1b」「ロシア語1c」を通じての到達目標は以下の通りです。 1、ロシア語アルファベットを正しい発音で読み、正しい事態で書けるようになること。 2、ロシア語の基礎文法の一部を習得すること（人称代名詞、基本動詞の変化など）。 3、ロシア語であいさつ等の簡単な会話ができるようになること。 4、ロシア語の簡単な文章が書けるようになること。 上記の3が「ロシア語1b」の主な目標です。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	授業の概要 文字と発音
第2回	文字と発音
第3回	単語の発音

第4回	教科書第1課 会話・音読
第5回	第2課 会話・音読
第6回	第3課 会話・音読
第7回	第4課 会話・音読
第8回	第5課 会話・音読
第9回	第6課 会話・音読
第10回	第7課 会話・音読
第11回	第8課 会話・音読
第12回	第9課 会話・音読
第13回	第10課 会話・音読

第14回	第11課 会話・音読
第15回	第1課から第11課の復習
第16回	定期試験 (ロシア語1abcBは統一して1回の試験をおこないます)

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教員が指定した教科書ページに出てくる単語の暗記と文法に関する予習。
【復習】時間・内容	2時間。その日に学んだ文法事項と単語の暗記。

成績評価	
評価基準・方法	授業態度・授業への参加40%と、定期試験（期末）60%によって成績を評価します。 授業への参加度は出席回数で評価します。
フィードバック方法	小テスト実施後、関連文法項目と単語を随時説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／グループワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤純一『NHK新ロシア語入門』NHK出版、2001年。 ・『ロシア語習字ノート』ナウカ出版、2007年。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記2冊の教科書を購入し、授業初回から必ず持参してください。 ・出席が極めて重要です。できるだけ欠席しないよう努めてください。 欠席分の挽回は相当の努力を要します。 ・この授業は予習・復習が不可欠です。 授業時の指示に従って必ず復習してください。 ・毎週、前回の授業の復習をかねた小テスト（復習テスト）を実施します。 ・小テストの内容については毎回ごとに指示します。 ・小テストをもとにした期末試験を実施します（試験時は持ち込み不可）。 ・小テストのほかにも、宿題や各種テスト（記述・口頭など）を随時課します。 ・ロシア語を習得したいという熱意を持つ人のための授業です。 覚悟を持って臨んでください。 ・簡単ではありませんが、努力を重ねれば必ずロシア語で読み書き話せるようになります。
JABEE	

科目名	ロシア語1b B	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	羽田 幸恵	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320212	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	ロシア語の基礎を初歩から学び、高度な語学運用能力の基礎を築きます。 「ロシア語1b」は会話・音読・文章解釈の学習に重点を置きます。 なお、「ロシア語1a」「ロシア語1b」「ロシア語1c」は同時に履修することが前提となっている授業です。 分けて履修することは可能ですが、注意してください。				
学修到達目標	「ロシア語1a」「ロシア語1b」「ロシア語1c」を通じての到達目標は以下の通りです。 1、ロシア語アルファベットを正しい発音で読み、正しい事態で書けるようになること。 2、ロシア語の基礎文法の一部を習得すること（人称代名詞、基本動詞の変化など）。 3、ロシア語であいさつ等の簡単な会話ができるようになること。 4、ロシア語の簡単な文章が書けるようになること。 上記の3が「ロシア語1b」の主な目標です。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	授業の概要 文字と発音
第2回	文字と発音
第3回	単語の発音

第4回	教科書第1課 会話・音読
第5回	第2課 会話・音読
第6回	第3課 会話・音読
第7回	第4課 会話・音読
第8回	第5課 会話・音読
第9回	第6課 会話・音読
第10回	第7課 会話・音読
第11回	第8課 会話・音読
第12回	第9課 会話・音読
第13回	第10課 会話・音読

第14回	第11課 会話・音読
第15回	定期試験
第16回	

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間復習をすること。
【復習】時間・内容	1時間復習をすること。

成績評価	
評価基準・方法	授業態度・授業への参加(40%)と、定期試験(期末:60%)によって成績を評価します。 授業への参加度は出席回数で評価します。
フィードバック方法	小テストを採点して返却し、解説を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤純一『NHK新ロシア語入門』NHK出版、2001年。 ・『ロシア語習字ノート』ナウカ出版、2007年。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記2冊の教科書を購入し、授業初回から必ず持参してください。 ・出席が極めて重要です。できるだけ欠席しないよう努めてください。 ・欠席分の挽回は相当の努力を要します。 ・この授業は予習・復習が不可欠です。 ・授業時の指示に従って必ず復習してください。 ・毎週、前回の授業の復習をかねた小テスト（復習テスト）を実施します。 ・小テストの内容については毎回ごとに指示します。 ・小テストをもとにした期末試験を実施します（試験時は持ち込み不可）。 ・小テストのほかにも、宿題や各種テスト（記述・口頭など）を随時課します。 ・ロシア語を習得したいという熱意を持つ人のための授業です。 ・覚悟を持って臨んでください。 ・簡単ではありませんが、努力を重ねれば必ずロシア語で読み書き話せるようになります。
JABEE	